

BE-PAL



Go / Go / Kei-Car

ソト遊びの達人が徹底チェック!
アウトドアで使える
軽自動車はコレ!



夏山シーズン応援特集

バックパック、シューズ、ナイフ、腕時計からスマホ、ライターまで

山を極めた人の「現役ギア」全部見せます!

私物
プレゼントも
あるよ!

オレの山道具が イチバン!

ほんとうに気持ちいい「山のキャンプ場」ベスト12

食の世界遺産を七輪で楽しむ「和ーベキュー」ってなんだ!?

無動力船と古代航海術で世界一周航海中!
新連載
ホクレアの娘
日本人クルー 内田海幸さんの
船長冒険トーク



ズ本な田舎!

ビーパル地域活性化総合研究所

グリーン・ツーリズム&
ローカル・ビジネスの
成功方程式を解く調査レポート

レポート 鹿熊 勤 (主任研究員)

case121

●インタビュー 住友達也さん(株式会社とくし丸社長) 移動スーパーが、買い物砂漠を走る 僕らの目標は店じやなく社会基盤。 軽トラ1台でオアシスを作ることです

買い物に出られない高齢者が増えている。総務省の調べでは、その数600万人以上。過疎地特有の現象と思われがちな「買い物難民」問題は、じつは都市部でも進行中だ。持続可能なビジネスの視点で、この課題に挑戦している『株式会社とくし丸』の住友達也さんに話を聞いた。



すみとも・たつや(右) 1957年、徳島県土成町生まれ。81年に情報誌「あわわ」を創刊、日本屈指のタウン誌に育てる。98年、「第十堰住民投票の会」代表世話人のひとりとして吉野川可動堰計画を世に問う。12年、移動スーパー「株式会社とくし丸」を設立。

——徳島市のような都市部にも、移動販売車の巡回を待っている人がいるというのは、驚きです。

住友 買い物難民は交通の不便な田舎の問題と思われがちです。でも、スーパーやコンビニが並んでいるような幹線道路沿いに住みながら、食料や日用品を買いに出ることができない高齢者は多いんですよ。足腰が弱って重い荷物を持ってなくなっている。スーパーから100mほどのところに住んでいるのに、手押しのシルバーカーを何回も停めて休まないと家にたどり着けない人もいます。

——若い人には、なかなか思い至らないことです。
住友 僕も最初はその感覚を理解できなかった。老いた自分の親がそういう状況を迎え、はじめて気づかされたんです。

——その社会問題を、ビジネスにしようと考えた理由は。

住友 僕は徳島市で「あわわ」というタウン誌を作っていました。創刊は81年。時代にも恵まれ、最盛期には広告の掲載依頼を断るのが大変だったほどです。環境問題にも首を突っ込みました。吉野川に江戸時代からある石積みの第十堰を壊し、コンクリートの可動堰を建設する計画が持ち上がったときは、巨大公共工事の是非を問う住民投票を呼びかける会の代表